

＜本校男子＞

【実技の状況について】

- 握力（筋力）
→全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 上体起こし（筋パワー、筋持久力）
→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 長座体前屈（柔軟性）
→全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 反復横跳び（敏捷性）
→全国平均を下回っている。
- 20mシャトルラン（全身持久力）
→全国平均を下回っている。
- 50m走（疾走能力）
→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 立ち幅跳び（筋パワー、跳躍能力）
→全国平均を下回っている。
- ハンドボール投げ（巧緻性、投球能力）
→全国平均を下回っている。

【児童生徒質問紙について】

- 運動・スポーツが好き、やや好き
→87.47%（全国平均 88.8%）
- 体育の授業は楽しい、やや楽しい
→89.0%（全国平均 89.3%）
- 体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合
→14.3%（全国平均 6.9%）
- 健康であるために運動を行うことは大切、やや大切
→94.5%（全国平均 95.9%）
- 健康であるために食事をしっかりとることが大切、やや大切
→99.2%（全国平均 98.8%）
- 健康であるためによく寝ることは大切、やや大切
→99.2%（全国平均 97.2%）
- 1日（平日）に2時間以上テレビやゲーム機、スマートフォン等の画面を見ている
→62.5%（全国平均 62.8%）

＜本校女子＞

【実技の状況について】

- 握力（筋力）
→全国平均を下回っている。
- 上体起こし（筋パワー、筋持久力）
→全国平均を下回っている。
- 長座体前屈（柔軟性）
→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 反復横跳び（敏捷性）
→全国平均を下回っている。
- 20mシャトルラン（全身持久力）
→全国平均を下回っている。
- 50m走（疾走能力）
→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 立ち幅跳び（筋パワー、跳躍能力）
→全国平均を下回っている。
- ハンドボール投げ（巧緻性、投球能力）
→全国平均を下回っている。

【児童生徒質問紙について】

- 運動・スポーツが好き、やや好き
→87.4%（全国平均 78.9%）
- 体育の授業は楽しい、やや楽しい
→88.4%（全国平均 84.4%）
- 体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合
→21.3%（全国平均 19.8%）
- 健康であるために運動を行うことは大切、やや大切
→97.7%（全国平均 96.1%）
- 健康であるために食事をしっかりとることが切、やや大切
→98.4%（全国平均 98.8%）
- 健康であるためによく寝ることは大切、やや大切
→99.2%（全国平均 98.5%）
- 1日（平日）に2時間以上テレビやゲーム機、スマートフォン等の画面を見ている
→50.3%（全国平均 59.8%）

今回の調査結果の傾向

【実技の状況について】

- 男子は、上体起こし、50m走は全国平均とほぼ同程度である。
 - 女子は、長座体前屈と50m走は全国平均とほぼ同程度である。
 - 特に、以下の種目で全国平均との開きが大きいことが、課題として挙げられる。
 - ・男子→反復横跳び（敏捷性）
20mシャトルラン（全身持久力）、立ち幅跳び（筋パワー、跳躍能力）
 - ・女子→上体起こし（筋持久力）
反復横跳び（敏捷性）
20mシャトルラン（全身持久力）、ハンドボール投げ（巧緻性、投球能力）
- ※経年変化でみると、全身持久力については改善傾向が見られる。

【運動習慣等について】

- 「運動・スポーツが好き」「体育の授業は楽しい」と考える子どもの割合は全国平均並みの値を維持している。
- 健康三原則への意識は高い一方で、体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の子どもが全国平均と比較して多く、ほとんど運動をしない子どもに対する取組に課題がある。
- 朝食の欠食日（食べない、食べない日が多い）がある子どもが全国平均より多く、ゲーム等の画面をみている時間が長い子どもが5割を超えていることから、望ましい生活習慣の定着を図る取組に課題がある。

改善の方向

- 体育授業の充実（補強運動の内容や授業内容の工夫、運動量の確保等）
- 各家庭と連携し、健康三原則に基づく生活習慣の確立、健康維持への意識を高める取り組みの充実を図る。